

富山県主催(大連YKKジッパー社協力)

中国大連での 企業実務研修

派遣先 中国・大連

費用 2018年度実績 約10万円
(渡航費、旅行雑費、滞在費(YKKが社員寮を提供)等を含みます。)

助成金 2018年度実績 3万円
本学同窓会より

応募資格 ・富山県立大学に在籍する学生。
・国籍及び中国語のレベルは問わない。

人数 2018年度実績 10名
(富山県内の他大学の参加者も含みます。
本学からは例年1~2名が参加します。)

2019年度実施期間 夏期 2019年8月24日(土)~8月31日(土) 8日間

内容 ・大連進出企業への訪問・講演、YKKでの仕事体験、日本人派遣員等との交流、大連外国語大学訪問等
・大連YKKジッパー社の社員寮で生活します。

※ 本学における単位認定はありません。



北陸銀行主催

中国大連 トレーニー研修

超短期!

派遣先 中国・大連

費用 2018年度実績 1万円
(北陸銀行がその他費用を負担。)

応募資格 ・富山県立大学に在籍する日本国籍の学生。
・日本企業の海外展開等に関心のある者。
・参加者は面接選考によって決定します。

人数 2018年度実績 20名
(富山大学、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学の参加者も含みます。本学からは例年2名参加します。)

2019年度実施期間 春期 未定《学生掲示板等でお知らせします》
2018年度実績 2019年3月13日(水)~16日(土) 3泊4日

内容 ・大連市内企業見学、セミナー
・大連理工大学生との交流会
・旅順視察

※ 本学における単位認定はありません。



参加した学生の声



2018年度研修参加者
環境・社会基盤工学科・1年
福島 晴貴

私が今回の研修に参加した理由は、自分の将来を考えるにあたって様々な情報を手に入れ、視野を広げたいと思ったからです。海外進出している日系企業の方々からは、海外でどのようにして自社企業をアピールするか、不景気に陥ったときにどのようにして切り抜けるか、また、現地の人々とのコミュニケーションや現地の人たちがどうすれば働きやすいか、などを教えていただきました。講演をしていただいた方々の多くが、私たちに伝えてくださった言葉があり、それはコミュニケーションや、信頼関係といった対人関係についての言葉でした。これまで、日本ではなく海外で活躍されてきた大企業の方々、他の様々な企業の方々とお話をされた感じた意見なのだと思います。相手と上手くコミュニケーションをとることが、どこに行っても大事だということが分かりました。日本とは違う考え方やものに触れることができ、日本にいた時とは考え方が大きく変わりました。



2017年度研修参加者
生物工学科・3年(研修参加当時2年)
宮東 千鶴留

私は、一度海外へ訪れてみたいという好奇心と、様々な経験をして自分の視野を広げ、グローバルな視点を身につけることを目的として、研修に参加しました。この研修が私にとって初めての海外であり、研修参加が決まってから訪問企業先などの下調べをして準備をし、不安もありましたが期待を胸に出発日を迎えました。セミナーでは、中国の方々の仕事に対するモチベーションについて教えていただき、日本との違いを感じました。日本では同じ会社で働き続けるのが主流ですが、中国では職を変え、自分のスキルアップを図っていくのが主流で、自分自身の将来の働き方を考えさせられました。研修を共にした他大学の学生とも仲良くなり、さまざまな考えをもった方とお話ができて、たくさんの刺激を受けました。刺激をうけて自分の理想の姿が描け、それに向かってどのように成長していきたいか考える機会が特でした。本当にこの研修で多くのことを学び、吸収できて、自分自身成長できたと思います。



お問い合わせ・申込みは
富山県立大学教務課窓口
0766-56-7500 (代表)

2019年度

富山県立大学

海外留学 プログラム

TPU STUDY ABROAD PROGRAMS



中国
瀋陽化工大学での
語学留学



アメリカ
ポートランド州立大学
での語学研修



中国
大連での
企業研修



富山県立大学



SHENYANG UNIVERSITY OF CHEMICAL TECHNOLOGY

瀋陽化工大学での語学留学

派遣先 瀋陽化工大学

1952年に設立され、工学教育を中心とした総合大学。学生数は約14,000名にのぼる。2011年に本学と協定を締結以降、互いに学生の派遣・受入を行っている。瀋陽市が位置する遼寧省は、1984年に富山県と友好提携し、両県省において幅広い活発な交流が行われている。



応募資格 学部・大学院に在籍する正規生。瀋陽化工大学への過去派遣学生、中国語を母語とする学生は対象外。【語学力要件あり(①②のいずれかを満たすこと)】

- ① 本学の授業科目「中国語Ⅰ」を過去に修得済みの者、または2019年度前期に修得見込みの者。
 - ② 日本中国語検定協会が行う「中国語検定試験」準4級以上を合格している者、または2019年6月検定試験で修得見込みの者。
- ・参加者は面接選考によって決定します。

2019年度実施期間 **夏期** 2019年8月26日(月)～9月14日(土) 20日間

人数 10名(本学の学生のみ対象です。)

費用 2018年度実績 約12万円
(渡航費・宿泊費・教材費等を含みます。)

助成金 2018年度実績 5万円
本学後援会・富山県(富山空港国際路線利用促進協議会)より

単位認定 ①初級中国語 →中国語II《1単位》
②中国事情 →総合科目 ▶ 言語・文化 ▶ 海外留学科目(中国)《2単位》
※学部正規生のみ認定対象です

1日のスケジュール

- 6:00 起床 1
- 7:00 朝食
- 8:00 初級中国語 2
会話を中心とする教材で、中国語によるコミュニケーション能力を養います。
- 12:00 昼食 3
- 13:30 中国事情 4
集中講義と社会見学が行われます。中国人学生との交流活動も催されるなど、バラエティに富んだ内容です。
- 15:00 フリータイム 5
- 19:00 夕食 6
- 20:00 フリータイム 7
- 23:00 就寝

教授と学生チューターは日本語堪能なので緊急時も安心!



1 留学生寮では1人1部屋。他国からの留学生とも友達になれるかも!



2 発音練習など実践的な中国語を教えてもらえます。



3 3つもある学内食堂でチューターと一緒に昼食。食堂の焼きそばやチャーハンは絶品。



休日には瀋陽市の各種名所へ。チューターと一緒にのんびり過ごす。



4 社会見学では九・一八歴史博物館へ。中国の視点から歴史を振り返ります。現地企業の視察も行い、中国の産業についても学びます。



5 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



5 卓球大会!多くの時間をチューターと過ごすので、すぐに仲良くなります。



6 夜はチューターと外食することも。本場の餃子は一味違う!



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。

参加した学生の声



2018年度交換留学参加者
生物工学科・1年
河合 亜美

大学に入ってからしか、中国語の勉強をしたことがなく、現地でコミュニケーションが取れるか不安でした。しかし、チューターは日本語が本当に上手だったため驚きました。授業だけでなく、チューターとの会話の中でも中国語の勉強をすることができました。覚えたい単語を、会話の中で少しでも使えるように努力しました。あるとき、チューターに「前よりも中国語の発音がよくなった」と言ってもらえたときはとても嬉しかったです。中国に行く前は、中国人は冷たい人たちだと思っていました。しかし、チューターだけでなく、食堂で働いている人たちや、屋台の人たちもとても優しく接してくれました。実際に現地の人と交流することができて本当に良かったです。



2018年度交換留学参加者
医薬品工学科・1年
中嶋 拓海

留学中には、日本と中国の様々な相違点について学ぶことが出来ました。最初に中国に着いた時に思ったことは人が多いということです。車の交通量も日本と比べて多く、渋滞がよく発生しているなどということも感じました。また、大連から瀋陽に行く際に乗った新幹線は座席が予想よりも広いし揺れも少なく、日本の新幹線よりも快適で、個人的には日本よりも技術面においても優れているのではと思いました。今までは、日本で生きてきた一方的な目線しか物事を見ることが出来なかったけれど、中国で多様な文化や考え方があったことを学び、色んな人の考えをすぐに否定せず一旦受け止めてから行動できるようになりました。また今回の留学で初めて中国や海外への関心と、海外で働いてみたいという気持ちが高まりました。



2018年度交換留学参加者
生物工学科・2年
清水 美和

中国とは隣国として、これからもっと国同士のつながりが強まると思います。将来、就職してからこの留学の体験は絶対役に立つと思いきや、留学を決めました。初めての海外留学は思っていた以上に刺激を受け、成果がありました。先入観を変えるには自分が実際に目で確かめに行く大切さを実感しました。中国語を現地で勉強したことで実際に使うこともでき、たくさんの人と話せたおかげで積極的に話せるようになりました。海外の友達を持つことは国際社会を歩みだしていくうえで非常に大切だと思いました。この瀋陽化工大学での経験は、友達にも自慢できるようとても貴重で楽しい体験でした。今回海外を訪れたことで他の国にも行ってみたいと思うようになり、これから海外経験を増やしていきたいと思えるようになったと思います。



PORTLAND STATE UNIVERSITY

ポートランド州立大学での語学研修

派遣先 オレゴン州ポートランド州立大学(以下、PSU)

1946年に設立され、226以上の専攻を提供するオレゴン州最大の総合大学。在学生約30,000人のうち、留学生は約2,000名。オレゴン州は1991年に富山県と友好提携し、富山県と最も結びつきの強い米国の州。



人数 2018年度実績 20～60名
(日本の他大学の参加者も含みます。本学からは例年春夏合わせて約10～20名が参加します。)

費用 2018年度実績 約50万円
(食費・渡航費・宿泊費・通学費等を含みます。)

助成金 2018年度実績 5万円
本学後援会・同窓会より

応募資格 学部・大学院に在籍する正規生

2019年度実施期間 **夏期** 2019年8月22日(木)～9月15日(日) 25日間
春期 未定《学生掲示板等でお知らせします》
2018年度実績 2019年2月14日(木)～3月10日(日) 25日間

単位認定 ①英語授業 American Language & Culture Class →海外語学研修科目《1単位》
②選択授業 Plus Elective Class →総合科目 ▶ 言語・文化 ▶ 海外留学科目(米国)《1単位》
※学部正規生のみ認定対象です

1日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:00 ホストファミリーと朝食
お弁当の準備 1
- 8:00 通学 2
- 9:00 英語授業 3
レベル別にクラス分けがあり、会話や発音練習など実用的な英語を学習します。
- 11:30 昼食
- 13:00 選択授業 4
ボランティア・ホスピタリティ・大衆文化から選択して受講します。
- 15:00 フリータイム 5
- 17:00 帰宅
- 18:00 ホストファミリーと夕食 6
フリータイム 7
- 23:00 就寝



1 お弁当は自分で準備します。学内のカフェやフードコートで買うこともできます。



2 通学は、バスやライトレールで約50分。



3 パートナーとの会話練習。街に出て現地の方に街頭インタビューもします。



4 ボランティア実習。寄付された衣服の仕分け作業。



5 PSU スタッフや学生アシスタントが、皆さんの生活をサポートしてくれます!



6 マルトノマ滝へ。PSU 学生アシスタントと様々な場所に社会見学に行きます。

日本語が分かるスタッフもいて緊急時も安心!



5 卓球大会!多くの時間をチューターと過ごすので、すぐに仲良くなります。



6 夜はチューターと外食することも。本場の餃子は一味違う!



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



7 自主的に作成したPPTで出身地を紹介したり、寮の部屋に皆で集まって話したり。もちろん授業の予習と復習も欠かしません。



5 放課後は PSU 学生とサッカーをしたり、学内のレクリエーション施設でボルダリングに挑戦。この他、プールやジムも自由に使用できます。



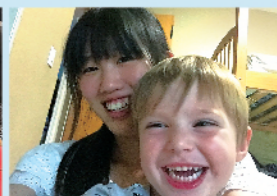
6 天気の良い日はテラスで食事をする日も。



7 ホストファミリーと一緒に過ごします。アイスホッケー試合観戦に行ったり、子供たちと遊んだり。



7 ホストファミリーと一緒に過ごします。アイスホッケー試合観戦に行ったり、子供たちと遊んだり。



7 ホストファミリーと一緒に過ごします。アイスホッケー試合観戦に行ったり、子供たちと遊んだり。

参加した学生の声



2018年度夏期語学研修参加者
電子・情報工学科・1年
旭 麻理奈

授業後に質問する日本とは違い、アメリカではわからないことがあっても、将来、就職してからこの留学の体験は絶対役に立つと思いきや、留学を決めました。初めての海外留学は思っていた以上に刺激を受け、成果がありました。先入観を変えるには自分が実際に目で確かめに行く大切さを実感しました。中国語を現地で勉強したことで実際に使うこともでき、たくさんの人と話せたおかげで積極的に話せるようになりました。海外の友達を持つことは国際社会を歩みだしていくうえで非常に大切だと思いました。この瀋陽化工大学での経験は、友達にも自慢できるようとても貴重で楽しい体験でした。今回海外を訪れたことで他の国にも行ってみたいと思うようになり、これから海外経験を増やしていきたいと思えるようになったと思います。



2018年度夏期語学研修参加者
機械システム工学科・1年
川野 滉介

今回の留学が初めての海外でしたが、大学のサポートや現地スタッフのおかげで安心できました。ホームステイでは始めホストファミリーの話を聞くだけでしたが、日本について教えてと言われ思い切った自分の知っている単語を使って話してみるとホストファミリーが分かってくれてとても気が楽になりました。それからは自分の意見を積極的に発言できるようになりました。授業で街の人にインタビューした時、全員が色々な意見を持っておりとても驚きました。日本では意見を持っている人は少ないと思います。自分の意見を持つことが大切だと思いました。普段の生活では経験することのできない充実した日々を送ることができました。



2018年度春期語学研修参加者
知能ロボット工学科・3年
池田 拓

アメリカと日本の文化の違いを現地に体験しホームステイすることによってより深く知りたいと考えたので留学に参加しました。平日は大学に通い、週末はホストファミリーと過ごしました。ホストファミリーは様々な場所に連れて行ってきて良い経験になりました。ホストファミリーとはすぐに打ち解けたたくさん話しました。アメリカに住む人の生活や考え方、日本との違いについて知ることができました。アメリカでは積極的に発言することが求められ、自分の意見をはっきり言うことが大切だと感じました。違う国の人と話す経験から自分の考え方の視野を広げることができました。